

# 隠れた奈良の魅力再発見 とっておきの奈良

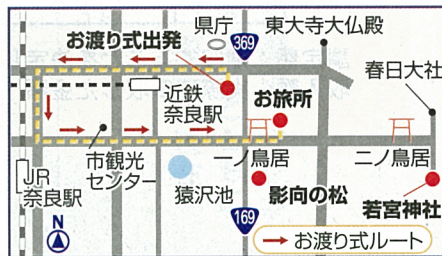
vol.11

おん祭をとこしえに…

お渡りの「華」を守る

## 奈良市

### 春日若宮おん祭 大名行列保存会



### 「春日若宮おん祭」

【とき】12/15(月)～12/18(木)

国指定重要無形民俗文化財。日本最古の文化芸能の祭典であり、神楽、舞楽、田楽、能などが次々舞われ、流鏑馬(やぶさめ)や競馬、相撲なども奉納される。17日のお渡り式では華麗な大名行列が練り歩く。

#### <12/17の主な日程と場所>

0:00～遷幸の儀(せんこうのぎ) [場所: 若宮神社～お旅所] / 12:00～お渡式(おわたしき) [場所: 県庁前～] / 14:30～お旅所祭(おたびしよさい) [場所: お旅所＝一の鳥居内・春日野御旅所] / 23:00～遷幸の儀(かんこうのぎ) [場所: お旅所～若宮神社]



左から毛槍(けやり)、大弓(だいきゅう)、先箱(さきばこ) (赤は郡山藩、緑は南部奉行が担当)。大名行列で使用する道具の手入れも保存会が行う。

「ヒーヨイヤナー イーヨイマカセー ヤツコラサノサー(今日はい日やな、そろそろ行こか、まかしとけ)」。

「春日若宮おん祭」のお渡り式のクライマックス「大名行列」を守るのは「大名行列保存会」のメンバーたち。昭和54年、江戸時代に参勤して

いた郡山藩や南部奉行所の行列を魅せ、以来、奴や侍の装束に身を包み行列のしんがりを務めています。会員は現在約290名。老若男女問わず、広く一般市民が参加して、伝統の祭りを受け継いできました。

保存会のお務めは、前年の祭り終了時から。装束や道具の修繕に始ま

り、神々に接する心構えを学ぶなど、心の準備も高めていきます。12月に入ると寒気の中で行列の所作の練習に励み、予行演習を重ね、ついに晴れ舞台を迎えます。

「おん祭は今年で873回目。創始以来一度も、途絶えたことがありません。これも人々が神様や先人達を敬い感謝して、どんな苦境の年でも『せなあかん』と強い思いを抱いていたからだと思えます。八百年あまりの内、我々のお務めなど点にか過ぎませんが、担える喜びを掛け声と共に感じます」と語るのは、大名行列保存会・会長の中尾義永さん。

「祭りが終われば、神様と食事をする直会(なおらい)をします。皆で鍋を囲むんですよ。同じものを大勢でいただき、親しくなる。祭りとともに大切にしていきたい文化かもしれませんね」

所作の「ヒーヨイヤナー…」の掛け声で、気持ちを一つにする大名行列保存会の皆さん(春日大社にて)。



ようごう  
一の鳥居の影向の松前で。おん祭は正しく継承された時代ごとの芸能風俗が通観できるため“生きた古典芸能博物館”と呼ばれる。



「歴史絵巻の華」大名行列。長さ4mの毛槍を投げ渡す所作は、行列の中でもひときわ喝采を呼ぶ。

【春日若宮おん祭の問い合わせ】 問 春日若宮おん祭保存会事務局(春日大社内) ☎0742・22・7788

【春日若宮おん祭 大名行列保存会の問い合わせ】 問 春日若宮おん祭大名行列保存会(総務担当 野村) ☎090・1598・9682(携帯)